

平成30年度事業計画

特定非営利活動法人 長野サマライズ・センター

平成29年10月1日から平成30年9月30日まで

1. 事業の方向性

- ① 一番の活動目標を「初等中等教育で普通学校に通う難聴児の授業支援制度実現」とすることは変わらない。寄付募集などを通して、引き続き全国の難聴当事者・保護者団体との連携、医療関係組織、大学、学生、企業などと幅広い連携で、さらに支援制度実現に向けた環境作りを進める。
- ② 認定NPO法人の信頼性を活かせるよう、寄付環境整備を行っていく。
- ③ 運営面の安定化を目指して、教育現場からのサービス提供依頼、会議録作成、データ入力作業などなどの営業活動も、ネットワークの中で徐々に広げていく。
- ④ 30年度も、多様な企業や他NPO法人などから講習依頼、相談や訪問を受け、今後もますます信頼される活動を継続したい。さらに、遠隔授業支援など、既存のシステムの組み合わせや活用をはかり、より利便性の高い支援につなげていく。

2. 事業実施に関する事項

○ 特定非営利に係る事業

定款の 事業名	事業内容	実施 日時	実施場所	従事者 の人数	受益対象者の範囲及び 人数	支出額 (千円)
パソコン要約筆記通訳者の派遣を行う事業	要約筆記委託事業	H29.10.1~H30.9.30	事務所、 県施設、各市町村施設	20名	全国 3000名	400
パソコン要約筆記通訳の人材発掘と育成事業	養成講座実施 県内の勉強会を運営	H29.10.1~H30.9.30	事務所 長野、塩尻、明石	4名	長野県民、兵庫県民 100名	400
IT技術の福祉分野への活用を推進する事業	情報収集と提供	H29.10.1~H30.9.30	事務所等、WEB	4名	全国活動者・支援団体、企業等 1000名	600
要約筆記・パソコン要約筆記についての相談と助言に関する事業	全国パソコン通訳者のネットワーク化	H29.10.1~H30.9.30	事務所等	4名	全国活動者・支援団体、企業等 200名	600
障害者・青少年の生きがい作りと人材育成事業	教育現場での授業サポート	H28.10.1~H29.9.30	筑波技術大学・信州大学 全国小中学校	20名	聴覚障害児童・学生 350名	1000
	テープ起こし データ入力	H29.10.1~H30.9.30	事務所等	12名	地域住民 市町村等 150名	2000
	助成事業	H29.10.1~H30.9.30	全国各地	20名	聴覚障害者・児童 全国活動者等 200名	500
その他、目的達成のために必要な事業	PR活動	H29.10.1~H30.9.30	事務所等	6名	依頼側、参加者 聴覚障害者、市民 7000名	300
	助成事業等	H29.10.1~H30.9.30	事務所等	4名	依頼者、参加者、 聴覚障害者等 1000名	500
一般管理費	事務作業等 諸経費	H29.10.1~H30.9.30	事務所等	4名	30名	2000